

野生動物が出没したときは

近年、サル、シカ、イノシシなどの野生動物が人里近くに出没しています。被害を防ぐには、農家の方だけではなく、地域全体で

「寄せ付けない」「侵入させない」「慣れさせない」

環境をつくるのが大切です。

普段からできること

・餌になるものをなくす

- ❓ 収穫しない果実、野菜くず、落果などを放置していませんか
- ❓ 生ごみは屋外に置かず、決められた方法で処分していますか
- ❓ ペットフードや米ぬかなどを屋外に放置していませんか
- ❓ 墓地のお供え物は持ち帰っていますか
- ❓ 野生動物に餌を与えていませんか

人にとって不要なものでも、野生動物にとっては餌になります。一度餌場として覚えると、繰り返し出没する原因となります。

・隠れ場所や侵入経路を減らす

農地や住宅周辺の草刈り、やぶの刈り払いを行い、野生動物が身を隠せる場所を減らしましょう。見通しを良くすることで、人と野生動物が突然鉢合わせする危険も低減できます。

・防護柵を適切に管理する

農地には、侵入する動物に適したワイヤーメッシュ柵や電気柵などを設置しましょう。柵を設置した後も、隙間や破損がないか定期的に点検してください。電気柵は、漏電を防ぐため周囲の草刈りを行い、電圧を確認することが重要です。

防護柵などの設置には補助制度があります

鳥獣害を防止する設備の購入に補助を行っています。

対象

農地の所有者または耕作者

品目

電子牧柵器、トタン、ロープ、あみ等

補助率

資材費の2分の1（上限3万円）

※詳しくは産業振興課（58-8204）へお問合せください

野生動物に遭遇したときは

野生動物を見かけても、

「**近づかない**」、「**刺激しない**」、「**餌を与えない**」
ことが原則です。

- 🐾 落ち着いて距離を取り、走らずゆっくり後退する
- 🐾 大声を出す、物を投げる、追いかけるなどの刺激をしない
- 🐾 動物の逃げ道をふさがない
- 🐾 目を合わせ続けたり、写真撮影のために近づいたりしない
- 🐾 子どもやペットを近づけず、犬はリードを短く持つ
- 🐾 建物や車の中など、安全な場所へ避難する

特に、子どもを連れた個体や、けがをしている個体は攻撃的になる可能性があります。

人身への危険が迫っている場合や、通学路・住宅密集地などで出没している場合は、身の安全を確保したうえで**町産業振興課（58-8204）**へ通報してください。

町へ連絡する際は、目撃した日時、場所、動物の種類、頭数、移動方向などをお知らせください。

サルに出会った場合は、目を合わせ続けず、背中を向けて走らないでください。

イノシシが突進してきた場合は、可能であれば建物内へ入り、難しい場合は塀や樹木などの物陰、高い場所へ避難してください。

追い払い用の資材を配布しています

鳥獣害防除資材を配布しています。

対象

農地の所有者または耕作者

品目

爆竹 1人あたり2パック

方法

身分証により本人確認のうえ、窓口で配布しています。

※詳しくは産業振興課（58-8204）へお問合せください